

ドセタキセル / パージェタ / トラスツズマブ療法について

1. 治療のながれ

治療スケジュール

通常「3週間」を一区切り（1コース）として治療します。

副作用の程度や体調によって治療計画を変更することがあります。

1コース			2コース		
1週目	2週目	3週目	1週目	2週目	3週目

⇒ 繰り返します



点滴



点滴

点滴スケジュール

点滴時間「約6~4時間」

	薬品名	点滴時間	薬効
	生食 50ml + ポラミン + デキサート	30分	過敏反応を予防します。 ポラミン注：抗ヒスタミン薬 デキサート注：副腎皮質ホルモン（ステロイド）
	生食 50ml	15分	点滴ルート内の薬液を洗い流します。
	生食 250ml + パージェタ	60分~ 30分	細胞増殖に関わる HER2タンパクに作用して抗腫瘍効果を示します。（点滴時間は、初回が60分、異常がなければ2コース目以降は30分に短縮できます）
	生食 50ml	60分	パージェタによるアレルギー反応が起こらないか経過を観察します。
	生食 250ml + トラスツズマブ	90分~ 30分	細胞増殖に関わる HER2タンパクに作用して抗腫瘍効果を示します。（点滴時間は、初回が90分、異常がなければ2コース目以降は30分に短縮できます）
	生食 50ml	30分	トラスツズマブによるアレルギー反応が起こらないか経過を観察します。
	5%ブドウ糖液 + ドセタキセル	60分	細胞の分裂を抑え抗腫瘍効果があります。

点滴順序

※1日目の夕食後より、3日目の朝食後まで合計4回、朝夕食後にデカドロン錠を内服します。
（デカドロン錠はステロイド薬で、ドセタキセル注による浮腫を予防する目的で服用します）

血液検査の結果や問診による自覚症状の有無を確認し、化学療法実施の決定を医師が行います。
この他にも輸液等を使用することがあります。

2. 予想される副作用

- 副作用は、治療内容や個人個人で症状の現れ方や程度が異なります。このため、副作用が出現した場合は、早期に対応できるようにすることが重要です。
- 副作用は、治療開始後すぐに起こる症状や、治療を繰り返すことで起こる症状があります。
- 副作用は「自分でわかる症状」と「血液検査などでわかる症状」があります。

副作用の特徴を理解し、体調に異常を感じた場合はすぐにお知らせください。

▼ 「自分でわかる症状」

副作用	出現時の対策・日常生活における注意点
アレルギー反応 (インフュージョンリアクション) 点滴開始後 24 時間以内	点滴にともない、悪寒（寒気）や発熱、吐き気、頭痛、疲労感などの症状が現れることがあります。 パーゼタ、ハーセプチンの投与中または投与開始後 24 時間以内に多く起こります。 症状出現時は、点滴速度を調節したり投与を中止したりする必要があるため、異常を感じたらお知らせください。
下痢 投与直後から 7 日目頃 	普段から便通の状態を把握するように心がけてください。 腹痛や、下痢でトイレの回数が多い場合は報告してください。 症状が出現したときは水分補給をこまめに行ってください。 下痢止めや水分補給のための点滴を使用します。
吐き気・嘔吐・食欲不振 投与直後から 7 日目頃 	<ul style="list-style-type: none"> 投与後すぐに起こる場合。 投与翌日から 1 週間ぐらいの間に起こる場合。 投与前から起こる場合。 食事のにおいなどで起こる場合。 これ以外でも変わったことがあった場合は報告してください。 吐き気止めや症状や原因に応じてその他の薬剤を使用します。
口内炎・歯肉炎 	口の中を清潔に保つように心がけてください。 刺激の強いものや極端に熱いものはなるべく避けてください。 痛みで歯磨きができない場合でも、うがいはしてください。 症状が出現時は、軟膏やうがい薬を使用します。
疲労感（倦怠感）	「だるい」「疲れやすい」「からだが重い」などの症状を感じる場合があります。無理をせずに十分な休息とるようにしてください。 肝機能が影響して症状が現れることもあります。 
心機能低下 息切れ、仰向け時の呼吸苦 や頻脈など	心臓のポンプ機能が低下することで症状が現れる場合があります。特別な症状がなくても、治療中は定期的に心臓の検査を行います。息切れ、あおむけでは息苦しい（上半身を起こした姿勢にすると楽になる）、脈が速くなるなど、体調に異常を感じたら報告してください。
間質性肺炎	息切れ、呼吸が苦しい、咳が止まらない、発熱など症状が現れたら、ただちに病院へ連絡してください。

脱毛 投与後 14 日から 21 日目頃 	頭髮のみでなく全身の体毛にも及ぶ場合があります。 洗髪はやさしく行い、柔らかいブラシを使用してください。 髪を染める刺激で髪が抜けることがあるのではなるべく避けるようにしてください。 投与を中止することで毛髪は約半年程度で生えそろういます。生えてくる毛髪は色や質が以前と異なる場合があります。
末梢神経障害	手足がしびれることがあります。 投与回数が増えるほど症状が現れやすく症状が強くなります。
浮腫（むくみ）	体重が急激に増加することがあるので、日ごろから体重の変化に気をつけてください。

▼ 「検査でわかる症状」



定期的に行い、問題ないことを確認していきます。

副作用	出現時の対策・日常生活における注意点
白血球・好中球減少 	感染症にかかりやすくなります。感染予防を心がけてください。 <ul style="list-style-type: none"> ・帰宅時に手洗い、うがいを行う。 ・歯みがきは口の中を傷つけないように気をつける。 ・風邪など感染症にかかっている人に近付かない。 風邪などの症状がある場合は早めに受診するようにしてください。減少の程度によって、内服薬または注射薬を使用します。  
赤血球減少 	めまい、倦怠感、息切れなど貧血時に見られる症状が出現します。 <ul style="list-style-type: none"> ・減少の程度によって、内服薬または注射薬を使用します。 ・減少の程度では、輸血することがあります。
血小板減少 	出血しやすくなります。 <ul style="list-style-type: none"> ・怪我や内出血（打ち身などによる）に注意してください ・覚えのない内出血や血便が見られたときは報告してください ・減少の程度に応じて輸血することがあります
腎機能 肝機能 電解質 などの項目も問題ないか確認していきます	

ここに書いてある以外の副作用が現れるかもしれません。
 パンフレット「パージェタハンドブック」もお読みください。

治療を受けているときは、様々な不安や疑問を感じると思います。
 そのようなときは主治医、薬剤師または看護師にお気軽に相談してください。



鹿児島市医師会病院 化学療法委員会
 (代表) 099-254-1125